

## 海外初の森林保全活動の第一弾！

～マレーシア／サラワク大学構内にて、10月6日植樹を実施～

高砂熱学工業株式会社  
本社・東京都新宿区新宿6-27-30  
会長兼社長・大内 厚、資本金13,134百万円

高砂熱学工業株式会社は CSR 活動の一環として、2016 年から森林保全・再生活動を全国規模で実施していますが、去る 10 月 6 日、海外では初となるマレーシアでの植林活動を実施しましたのでお知らせします。

この活動は、マレーシア・サラワク州にあるサラワク大学構内で実施する「熱帯雨林再生プログラム」への参画に向け、本年 2 月に当社とタカサゴ・マレーシア（当社マレーシア現地法人）〔T. T. E. Engineering (Malaysia) Sdn. Bhd. 代表：浅野啓一〕ならびに公益社団法人日本マレーシア協会（小川孝一理事長）の三者間で行った契約調印に基づくものです。



- ① タカサゴ・マレーシア 代表 浅野 啓一
- ② 当社 国際事業本部長 田渕 潤
- ③ サラワク大学 副学長 カディム氏
- ④ サラワク州 副首相 アマル・アワン氏
- ⑤ サラワク州 森林局長 ハムデン氏
- ⑥ 在日本マレーシア大使館 公使 折笠 弘維氏

同再生プログラムは熱帯雨林再生モデルとなる森林を造成し、大学による森林再生の調査研究に活用するとともに、マレーシア国内の緑化・熱帯雨林の保全と再生に役立てることを目的としたもので、先の契約調印によって、サラワク大学の構内にある熱帯雨林再生予定区画 20ha のうち、活動場所となる 10ha を『タカサゴの森』に指定し、本年度より 5 年間の予定で植樹活動を実施するというものです。

植樹活動の最初となった 10 月 6 日当日は、サラワク州政府からアマル・アワン副首相、ハムデン森林局長、在マレーシア日本大使館からは折笠公使を来賓にお招きし、同大学からはカディム副学長ほか資源科学技術部と工学部の教員、学生を中心に約 100 名が参加され、また当社からは田渕 潤国際事業統括本部長はじめタカサゴ・マレーシア、他の海外現地法人社員が参加し、総勢 130 名による植樹が『タカサゴの森～Educational Forest』において、執り行われました。

今後 5 年間に亘り毎年 10 月頃に、第 1 回目と同様に同大学関係者が参加のもと、当社やマレーシア現法はじめ他の海外現法や国内社員から参加者を募り、植樹活動を行っていく予定です。

当社が実施している森林保全・再生活動は、この度のマレーシアを含めて 5 拠点目となります。植林活動に携わる方がたとの情報交換や人的交流を通じて、森林保全の大切さについて理解を深め、この活動の輪がさらに広げられるよう努めてまいります。

以上

#### お問い合わせ先

経営企画部広報室 鷺尾、土屋まで TEL 03(6369)8215(直通)  
鷺尾 携帯： 090-4437-3858 E-mail: masaki\_washio@tte-net.com  
土屋 携帯： 080-9347-5316 E-mail: takuhito\_tsuchiya@tte-net.com